

令和7年度 第1回徳島県南部地域医療構想調整会議 議事録

日 時：令和7年7月31日（木）19：00～20：05

場 所：（Web開催）

出席者：23名

報告事項1 新たな地域医療構想について

報告事項2 かかりつけ医機能報告制度について

（議長）

本日は大変お忙しいところご出席いただき、ありがとうございます。それでは、議事に移らせていただきます。報告事項1「新たな地域医療構想について」、報告事項2「かかりつけ医機能報告制度について」、事務局より説明をお願いします。

（事務局）

資料1、2により説明

（議長）

ただいまの説明についてご意見、ご質問などございましたらお願いします。

（各委員）

意見なし

（議長）

よろしいでしょうか。それでは、議事を進めてまいります。

報告事項3 病床数適正化支援事業の適用における病床削減の予定について

報告事項4 阿南医療センターにおける対応方針について

（議長）

続きまして、報告事項3「病床数適正化支援事業の適用における病床削減の予定について」、報告事項4「阿南医療センターにおける対応方針について」、事務局及び阿南医療センターより説明をお願いします。

（事務局）

資料3により説明

（阿南医療センター）

資料4により説明

(議長)

ただいまの説明についてご意見、ご質問などがございましたらお願いします。

(各委員)

意見なし

(議長)

ありがとうございました。それでは、議事を進めてまいります。

報告事項5 地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業について

(議長)

続きまして、報告事項5「地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業について」、徳島大学より説明をお願いします。

(徳島大学)

資料5により説明

(議長)

ただ今の説明について、ご意見、ご質問などがございましたらお願いします。

(田岡委員)

説明ありがとうございます。私も健保連の方で地域医療構想の話を伺いしまして、今回の見直しは、保険者も結構関係してるということでお話を伺ったんですが、今回出席している保険者というのは健保連だけなんです。私は保険者協議会というのにも出ておりますが、今回の地域医療構想の中で、重点医師偏在対策支援区域っていうのを、保険者協議会の方でも、協議して選定するというふうなことであります。ですけれども医療に関しては素人でございまして、なかなか年に数回位の会議でこういうことを選定するのは、なかなか難しいんじゃないかと思うんです。県にお願いなんです、保険者協議会の方ですね、何か部会かを作っていただいて、例えば今回のような説明とかですね、そういうのをいただけたらと思うんですがいかがでしょうか。

(事務局)

保険者協議会様を代表して、こちらの南部には田岡様に委員として入っていただいているところで今、ご提案をいただいたというところだと思います。今おっしゃっていただいた重点医師偏在対策支援区域につきましては、今後、様々な支援、今回は承継・開業への支援というところですが、そこでの財源の関係が、保険者にも一部求められるというところもあってだと思っております。そこでの検討を国から求められてきたところと考えております。そこで、おっしゃっていただいたのは、こういったデータ分析であったり、そういうふうな背景、状況というところを一緒に共有することができればとい

うご提案と思いますが、そういった保険者協議会の中での研修会や講演等でご協力いただくことは、徳島大学様として可能でしょうか。

(徳島大学)

県から受託して実施しており、地域のデータを活用しておりますので、還元していくのが使命だと思っておりますので、協力させていただければと思います。

(議長)

県の方で、また個別に話していただくことでよろしいでしょうか。

(事務局)

また調整、協議させていただきたいと思います。

(議長)

では、よろしいでしょうか。それでは、協議事項に移らせていただきます。

協議事項 1 紹介受診重点医療機関の選定について

(議長)

それでは、協議事項 1 「紹介受診重点医療機関の選定について」、事務局からの説明をお願いします。

(事務局)

資料 6 により説明

(議長)

ただ今の説明についてご意見、ご質問などがございましたらお願いします。

(各委員)

意見なし

(議長)

ご意見ございませんでしょうか。なければ、今回、意向ありとした徳島赤十字病院、阿南医療センターを引き続き紹介受診重点医療機関として選定することで、調整会議として合意してよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし

(議長)

異議なしと認められますので、調整会議として合意するいたします。最後に全体を通して改めて他にご意見、ご質問ございましたら受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

(本田委員)

ようやく2025年になったわけですけど、地域医療構想を進めてきての反省みたいなのがないんじゃないかと思うんです。医師会の会長などは、どんどん変わっていくんですけど、今まで病床が減って、地域医療が良くなったのかどうか。今までの反省とかは全然ないんでしょうか。

(議長)

私の個人的な感想でもよろしいでしょうか。まだ分析するまでいっていないと思うんですよね。今までの、病床削減の方向の話がほとんどだったように思います。阿南市に関して言えば、我々の治療のバックヤード、後方支援病院として、阿南医療センターには頑張っていていただき、あまり入院を断られることはありません。高度急性期の、特に心臓に関しては、徳島赤十字病院へ行かざるを得ないところがありますが、急性期の場合は、阿南市としては阿南医療センターでかなり解決しております。もちろん症状によっては徳島赤十字病院にも順調に受け入れしていただいておりますので、そう大きな不満は今のところございません。今回の分で良くなりましたかということについては、今のところは大きくは変わってないような印象はあるんですがいかがでしょうか。

(本田委員)

人手不足とか、病院の80%が赤字とかということになってますので、病床を減らしていただけないのだろうかというふうな疑問を持っています。

(議長)

私が答えていいものかどうか分かりませんが、もちろん病床だけではいけないので、新しい地域医療構想では在宅とか高齢者医療など広げていかないと、まだ全体の姿が見えてこないんだろうと思うんですけどね、私の印象としては。まだちょっと結論を出すのは早いように思いますが、皆さんいかがでしょうか。どなたかご意見がありましたらお願いします。

(本田委員)

継続議題でも構いません。

(議長)

ありがとうございます。本田先生の言われたことは県も念頭に置いて、これから会議を進めていかれると思いますので今後も注目してください。他にございませんでしょうか。それでは本日の議事はすべて終了しましたので、事務局にマイクをお返しします。

(事務局)

本日は長時間の議事運営にご協力いただきまして、本当にありがとうございました。これをもちまして、調整会議につきましては終了させていただきます。

以上